

唐津車両センター構内架線金具損傷に伴う輸送障害について

2026年2月3日1時35分頃、唐津車両センター構内において、入区した車両のパンタグラフが降下しない事象が発生いたしました。この事象に伴い運転見合わせが発生し、多くのお客さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。

本事象について、これまでに判明した状況をご報告いたします。

1 概況

1時35分、唐津車両センター構内に入区した車両のパンタグラフが降下しない事象が発生したため、現地を確認した結果、電車線路設備である交差金具の一部の脱落と車両パンタグラフの破損を発見しました。当該箇所については、速やかに復旧作業を実施するとともに、他の車両についても、パンタグラフに異常がないか確認を行いました。併せて、当該車両が走行した区間である筑肥線 筑前前原駅～西唐津駅間において、架線設備の点検を実施しました。点検の結果、当該箇所以外に異常がないことを確認し、9時17分に運転を再開しました。

2 発生日時および発生場所

発生日時 2026年2月3日（火）1時35分頃

発生場所 唐津車両センター構内

3 時系列

2月3日（火）

- 1:35 唐津車両センター構内にて入区車両のパンタグラフの不具合を確認
- 2:44 唐津車両センター構内の電車線設備にある交差金具の一部の脱落を発見
- 4:04 原因箇所の調査開始
- 5:13 唐津車両センター構内の架線金具復旧作業開始
- 6:52 唐津車両センター構内の架線金具復旧完了
- 6:56 筑肥線 姪浜駅～筑前前原間 運転開始
- 7:40 唐津線 東唐津駅～西唐津駅間 運転開始
- 9:17 筑肥線 筑前前原駅～西唐津駅間 運転開始

4 列車影響

【運休】 普通列車61本（上り31本、下り30本）

【遅延】 普通列車4本（上り4本）100～10分

【影響人員】 約15,000人

5 原因

架線金具損傷に至った原因につきましては、現在詳細な調査を実施しております。